



# 希望に満ちて

さいたま市立大門小学校

自ら学ぶ子  
だれとでも仲よくする子  
進んできたえる子  
人とのかかわりを大切にする子

## 子育ては宝探し

校長 岡村 洋彦

早いもので、今年度も2ヶ月が過ぎました。この間、保護者の皆様、多くの地域の皆様方に御支援いただきました。本当に、ありがとうございました。

先日、ある本を見ていたら次のような言葉が書いてありました。

### 「子育ては宝探し」

学校でも、家庭でもつい子どもの課題に目がいって指摘や小言が過ぎてしまう場面があります。

しかし褒めて育てることの第一歩は言うまでもなく、日常生活のふとした瞬間や場面で子どもの努力やよさを認め、口に出して伝えることです。

子どもたちの学校生活をみていると嬉しいことがいくつもあります。例えば、最近感じた中につきのような3つのことがあります。

一つ目は、給食の時間です。4月よりはるかに手際よく準備や片付けができるようになっていきます。

二つ目は、掃除の時間です。友達と協力して一生懸命廊下や教室の床をはいたり、磨いたり、黒板をふいたりする子どもたちが増えています。

三つ目は、授業でのノートの使い方です。字をていねいに書いたり、定規を使い、赤や青の色鉛筆を使い大切なところなどに線を引いたり工夫している姿をよく目にします。

上にかいたような成長をみていると、子どもたちはまさに「磨かれて輝きを増すダイヤモンドの原石」です。ダイヤモンドが輝くのは、削って、磨き続けたときです。自分自身に磨きをかけ続ける場面は、「昨日より成長した今日の自分、今日より明日に向かって成長をめざす自分」の姿であられます。

その他の場面でも、これまで知らなかった事を知り、できなかった事ができる瞬間は、ダイヤモンドのように子どもたちが輝きはじめる瞬間です。

そして忘れてはいけないことは、人は自分自身の進歩を実感できないことが多いということです。だから、子どもの進歩を見つけた大人がその瞬間を逃さず、努力やよさを口にしっかり出して褒めることが大切なのです。昨日より今日、今日より明日の進歩や努力をしている子どもたちに、よさを伝えることが大切なのです。ノートの使い方、漢字、計算、挨拶、掃除、整理整頓、宿題の習慣、早寝・早起きなど、「あっ、続けているな」「がんばっているな」「よくなっている」、そんな子どもたちの姿に気づき、励ませる大人でありたいと願っています。

今月も、社会科見学、家庭訪問など多くの学校行事があります。様々な教育活動を通して学級づくり、学校づくりを着実に進めるとともに、その中で子どもたちの成長に気づき、認めて、励ましてまいりたいと思います。これからも御理解、御協力をお願いいたします。